

放課後等デイサービス グローリー 評価表（職員向け）

調査時期：令和3年11月

【職員の目的意識について】

質問① 利用者が、サービスを提供する目的や目標などはどのようなことですか

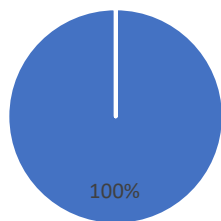
- ・ 身辺自立、社会性の向上（様々なルールやマナーの習得）、コミュニケーションの向上
- ・ 個々の特性やニーズに応じた支援を行うこと、家庭に戻るまで安心して過ごすことができるサービスを提供できること
- ・ コミュニケーション力の向上、子どもの特性、発達段階に応じた支援、学校や家庭とは異なる空間での生活
- ・ できることが増える、自立にむけた成長
- ・ 成長を学びにつなげる
- ・ 集団でのルールやマナーを身につける、生活の中で必要なスキルを身につけること

質問② 「1」の目的や目標の達成度や満足度はどのくらいのものでしょうか

- ・ 個々の目標に対する達成度に差はあるが、1人1人出来る事は増えている。
- ・ 月間評価、面談、保護者向けアンケートなどの結果から達成度は様々。満足度は高いのではないかと考える
- ・ 保護者の声やアンケートから判断すると満足度は高い
- ・ 個人差はあるが利用者それぞれができることを増やしている
- ・ 一人一人達成度は差があるが、学び成長している
- ・ 個人差はあるが少しずつでも成長しているのではないかと

【適切な支援の提供について】

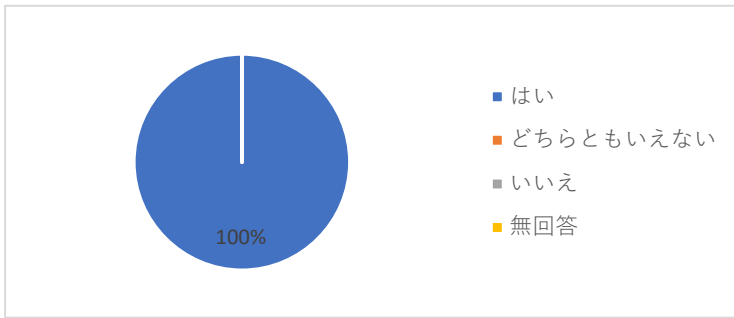
質問1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

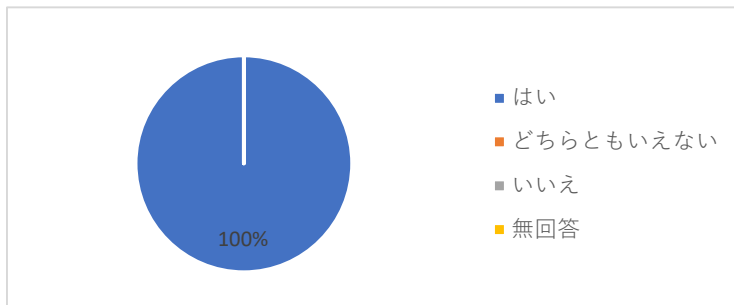
- ・ 適切にスペースが確保されている
- ・ 活動内容に応じて工夫しやすい
- ・ 個々対応スペースも確保され、且つ活動、飲食等の空間も充分にあると思います
- ・ 活動スペースと学習・食事・読書時のスペースがとれている
- ・ 定員に対して十分なスペースを確保できている。遊ぶ利用者、読書や勉強を行う利用者、個別対応を行う利用者等のゾーニングもできている
- ・ 勉強するスペースと活動するスペースが分けられて、どちらも

質問2 職員の配置数や専門性は適正であるか



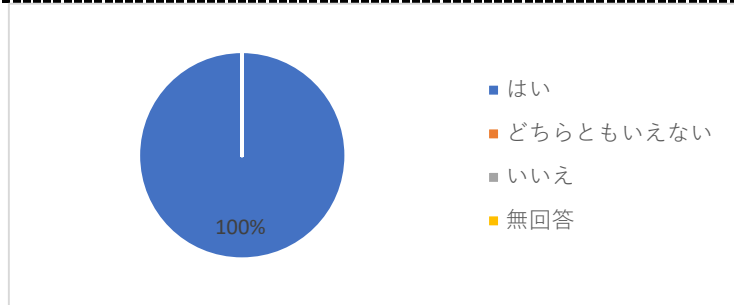
- ・有資格者が配置されている
- ・専門性が向上するよう、研修や新たな資格取得に向けて取り組んでいる
- ・保育士、介護福祉士など専門性の高い職員が適正に配置されていると思います
- ・有資格者で構成されており配置数も適正である
- ・常勤職員のほぼ全てが児童指導員の有資格者であり、強度行動障害等の研修も受けている。保育士や介護福祉士の有資格者も在籍している

質問3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか



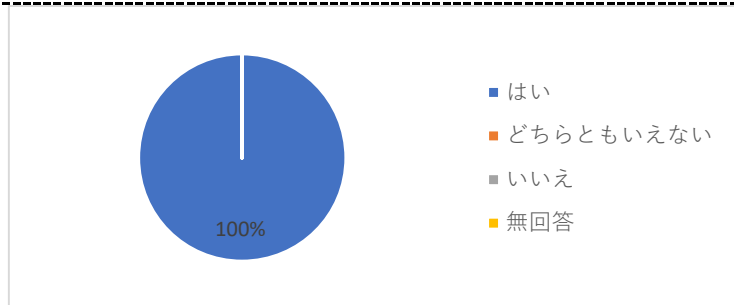
- ・段差もなく配慮されている
- ・スロープや手すり（特にトイレ）などが適切な場所に配置（設置）されています
- ・段差、手すりなど配慮がよくできている

質問4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員は参画しているか



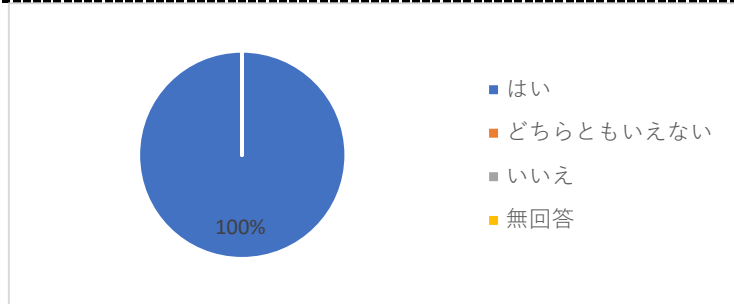
- ・毎月月間評価している
- ・都度、情報共有、ミーティングを行っている
- ・事業所内で管理者を中心に情報を共有しつつ頻繁にミーティングも行っています
- ・日々の支援、月単位の振り返りを全員で共有している
- ・月一回の会議や年間の目標等を職員間で決め、振り返りを行いながら業務している

質問5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか



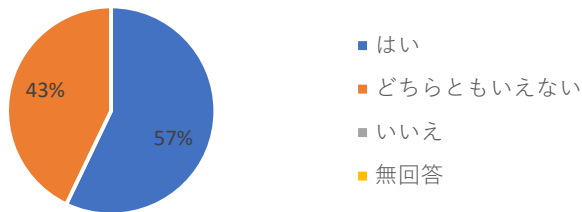
- ・年1回アンケートを実施し、業務改善につなげている
- ・アンケート調査の実施を必ず行っており全体会議で結果が公表され改善に繋がっています
- ・保護者アンケートを行い、業務改善に生かしている
- ・毎年保護者へのアンケートを行っている。個々の意向を管理者が確認し、職員に周知・対応を行っている

質問6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか



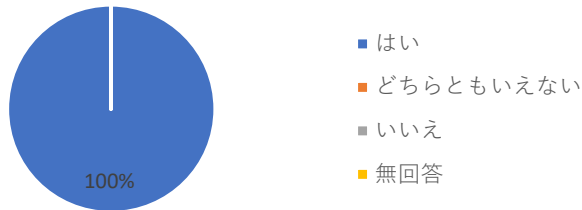
- ・HPに公開されている
- ・栄光の架け橋は月に1回に加え、増刊号もある。HPの公開もあり結果は十分に公示できていると思います
- ・HPで公開している
- ・広報紙（月1回）は充実させている

質問 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか



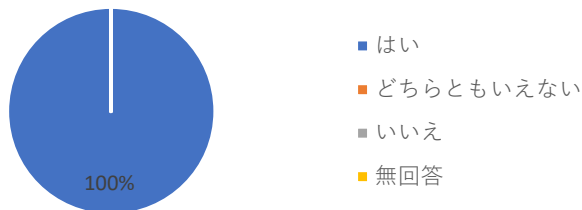
- ・今年度は実地指導が10月に実施済
- ・行政職の方の来訪などを生かして業務の改善に繋がっている
- ・同業者や関連機関等の方が視察など含め訪問されたときに、関係者の声を取り入れている
- ・第三者委員はいるが今年に関しては行ってない

質問 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか



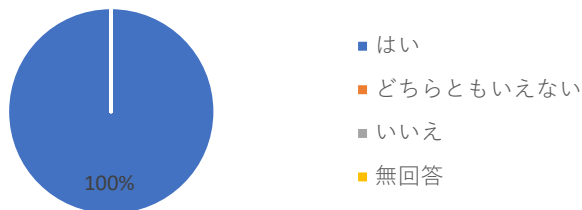
- ・月1回全体会議、研修を行っている
- ・外部講師を招いての研修も定期的に行っている
- ・全体会議、牧先生の講義など研修は充実しています
- ・月1の会議・研修をはじめ専門家を招いての研修など充実している
- ・外部講師を招いて、月に1回以上の社内研修を行っている
- ・働きだしてすぐに研修を行って頂き、とても有難かった

質問 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか



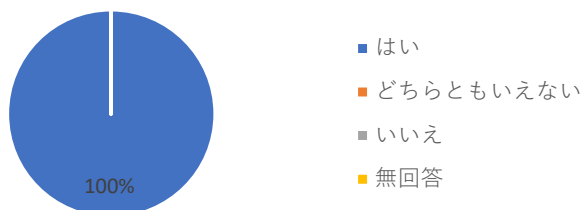
- ・個別面談時（年2回）に話をして作成し、説明・同意いただいている
- ・管理者、相談員との面談を丁寧に行っており、その上で個別支援計画が作られていると考えます
- ・保護者面談の定例化、綿密な個別支援計画が作られている
- ・利用者の状態把握や、本人と保護者の要望をよく理解し、援助方針と長期・短期の目標設定を行っている

質問 10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか



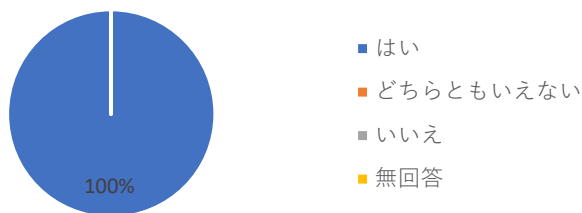
- ・アセスメント様式を使用し、毎年更新している（事業所用・保護者記入用）
- ・条件を満たした様式のものを用いている
- ・アセスメントの様式を使っている

質問 11 活動プログラムの立案をチームで行っているか



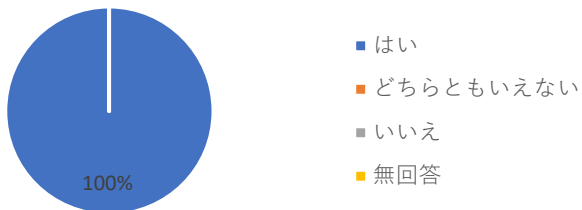
- ・週ごとに計画を立て共有している
- ・一週先の計画をたてることによって、ゆとりをもってチームで立案できていると思います
- ・早めにプログラムを作り、共有している
- ・児発管より利用者への今後の課題を提示され、それに則した支援を職員間で話し合いプログラムを考えている

質問 1 2 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか



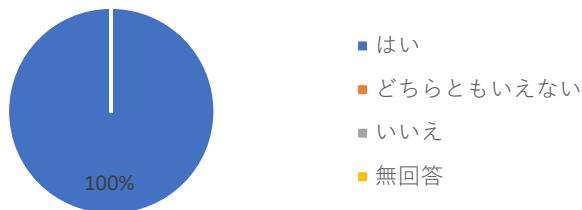
- ・固定化、偏った活動にならないよう工夫・共有している
- ・長期計画のものもあるが、毎週固定せず多様な活動が行われています
- ・職員全員が創意工夫を發揮し多彩なプログラムを作っている
- ・職員同士で運動・創作・おやつ作り等の活動がバランスよく出来るように確認しあっている
- ・以前に行った活動でもステップアップしたりルールを変えたりして工夫されている

質問 1 3 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



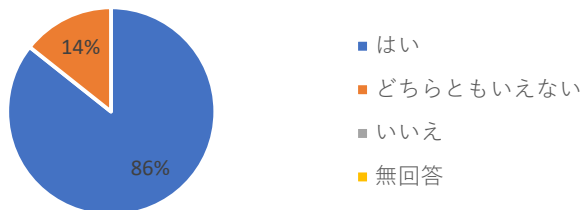
- ・平日に出来ること、休日・長期休暇だから出来ることを考えながら支援している
- ・休日、長期休暇などは特にその時にしかできない活動を計画し、支援することができていると考えます
- ・それぞれのシチュエーションにおける支援課題を実施している
- ・休日には田植え等の体験活動や、土曜日には屋外や公民館での運動活動、難易度の高いおやつ作りを行っている。長期休暇には外出支援の活動を行っている

質問 1 4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか



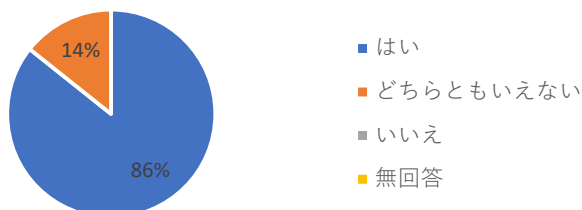
- ・その都度保護者ともお話ししながら、個別・集団活動を組み合わせ作成している
- ・特別な状況にもすぐに対応し、個別、集団活動共に実態に合ったものができている
- ・個別、集団活動とも子どもの実態に応じた支援をしている
- ・利用者の長期的な課題や、その時々課題をよく吟味して個別と集団のサービス計画を作成している

質問 1 5 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



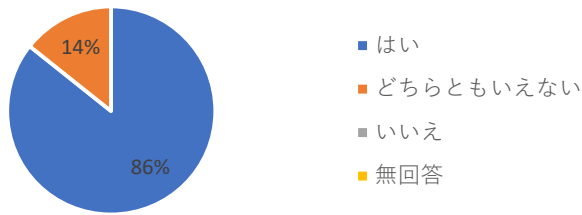
- ・その日流れや役割分担など必要事項は共有できている
- ・個別に支援が必要とする利用者、注意が必要な利用者などの情報共有ができるよう確認を行っている
- ・情報交換、注意すべき点など確認している
- ・個別対応者の確認が、役割分担等を表にまとめて確認しあっている。支援前にも職員同士で打ち合わせがある
- ・事前に確認している

質問 1 6 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか



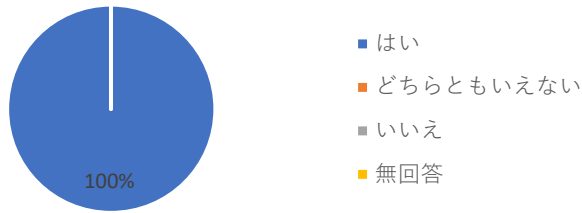
- ・日報にまとめて共有できている
- ・日報内での情報共有に加え指導員が個別に気になることなどを話し合うことができている
- ・日報による振り返り、ヒヤリハットの記述など共有できている
- ・その日の支援内容については、日報や支援記録を残し、職員間で目を通して目を通している。

質問 1 7 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか



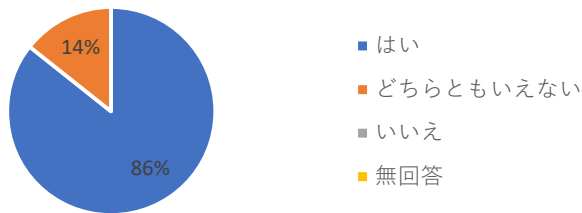
- ・利用日ごとに記録、月間評価につなげられている
- ・支援記録に皆が目を通したり月間評価などから行うことができる
- ・毎日の支援記録、月間評価を通して検証・改善につなげている
- ・支援記録については観察記録で終わらないよう注意して記録を行っている。支援記録を振り返りながら評価や今後の支援のあり方を考えている

質問 1 8 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか



- ・毎月月間評価し、半年ごとに個別面談を行い見直し
- ・管理者を中心に必ず定期モニタリングを行っており判断がなされている
- ・毎月の月間評価を行っていて保護者とのモニタリングで見直しをしている
- ・定期的なモニタリングを行い、必要に応じて支援計画を作成し直している

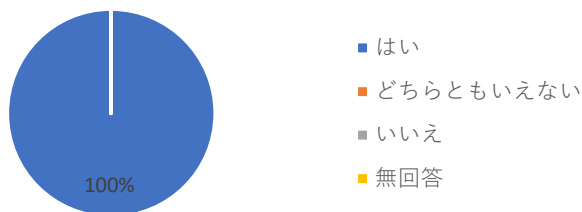
質問 1 9 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか



- ・ガイドラインに記載されている基本活動を組み合わせる支援できている
- ・ガイドラインは全て覚えることはできていないが、都度手にとったり管理者に相談しながら支援を行っている
- ・ガイドラインは手に取りやすい所に置かれており、何かあれば見るよう指示されている
- ・ガイドラインに沿って、自立支援や創作活動、余暇の提供等を行っている

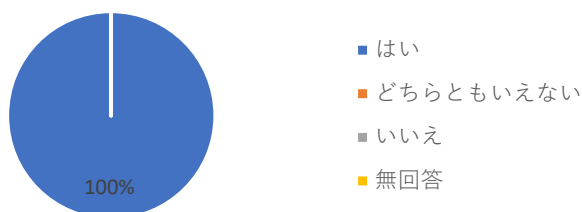
【関係機関や保護者との連携について】

質問 2 0 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか



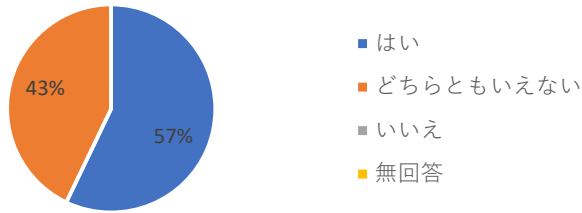
- ・管理者・児発管が出席している
- ・記述の問いの通りの人材が参加しています
- ・管理者や児発管が参加している
- ・児発管が子どもの状況をよく理解したうえで参加している

質問 2 1 学校との情報共有（行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか



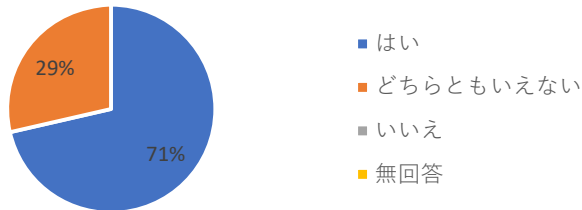
- ・学校によって対応に差はあるが、概ね情報共有できている
- ・迎えの際に教諭からの情報提供をすぐに管理者に伝えるなど適切に行っている
- ・学校との情報共有はよく出来ている。特に下校時に教員との対話で様子をつかむよう努めている
- ・児発管を通じて、学校間の調整を行っている。学年通信や送迎時に教員と情報交換を行っている
- ・学校からの行事予定表などをひかえている

質問 2 2 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか



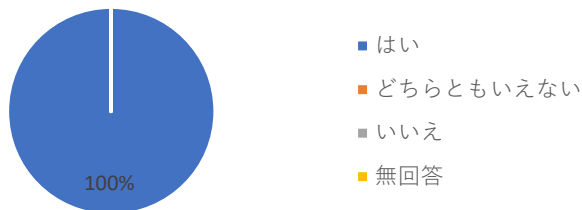
- ・現在対象者はいない
- ・アレルギーのある方の保護者とは情報共有できている
- ・医療的ケアの必要な子どもを受け入れている経験がないが過去の情報にて知る程度である
- ・現在、該当児童・生徒はいないが受入体制や手順は整っている
- ・利用者のアレルギーや服薬状況、検査結果等は保護者を通じて情報共有を行っている

質問 2 3 就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか



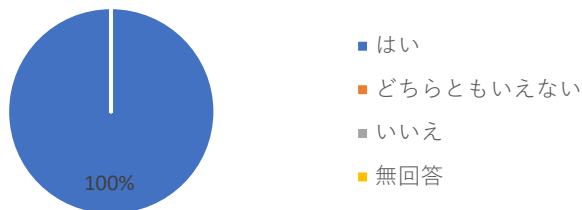
- ・今年度は対象者がいなかったが、対象者がいる場合は、相談支援専門員を通してなど共有している
- ・施設見学に来訪した子どもの情報などを管理者から聞くことによって理解に努めている
- ・相談支援専門員からの話や保護者見学時に様子を聞いている
- ・未就学児が就学し本事業所を利用される場合には事前に情報共有を行っている

質問 2 4 卒業後、グローリーから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか



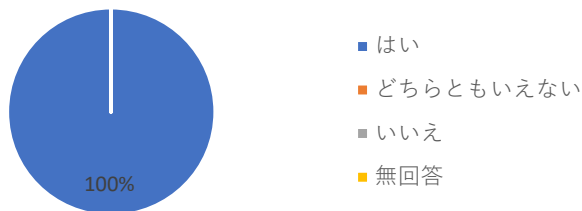
- ・担当者会議などを通して提供している
- ・各事業所へ情報提供がなされている
- ・就労先等へ提供している、また実習中に実習先へ訪問し作業時の手順等を伝えたこともある。
- ・必要に応じて提供している

質問 2 5 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか



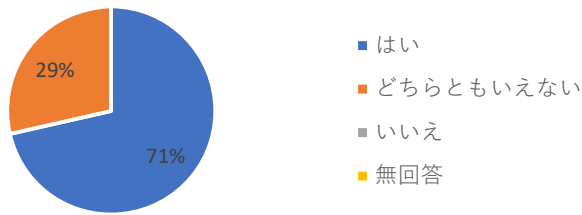
- ・研修案内があれば参加している
- ・他事業所とは会議を通して話をしている
- ・保護者にも療育の内容等を聞き、可能なことは支援につなげている
- ・研修の機会があれば参加するようにしている
- ・研修案内を職員に回覧し、積極的参加を勧めている
- ・研修等の案内があれば、その都度参加している

質問 2 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



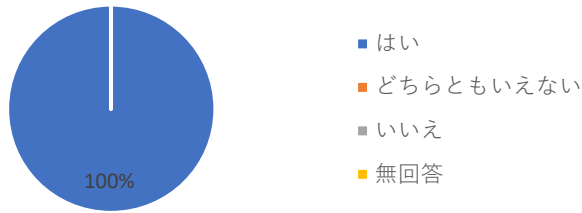
- ・特別営業日（田植え・稲刈り・餅つき）を通して、交流の機会を設けている
- ・利用者の家族、地域の方、通っている学校を通して交流の機会がある
- ・放課後児童クラブ等との直接交流はないが、田植えや稲刈り、餅つき大会に家族や地域の人が参加している
- ・田植えや餅つき等の体験活動では外部の方や障水連関連の子ども達との関わりがある
- ・特別営業日がある

質問 2 7 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか



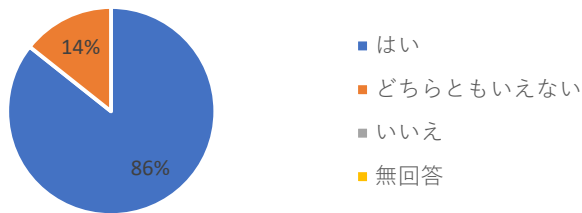
- ・研修案内があれば可能な限り参加している
- ・障がい者スポーツ協会や水泳連盟の活動等に協力しながら連携を深め居ている。

質問 2 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



- ・日々の連絡帳や引継ぎ時、個別面談の際に伝え合い、共通理解できている
- ・学校からの保護者の要望の情報提供、連絡帳、管理者からの情報をもとに共通理解をもっている
- ・日々の連絡帳や送迎時、保護者面談を通して共通理解を図っている
- ・送迎時の引継や、連絡帳への記載、必要に応じて児発管より個別に連絡をとりあっている

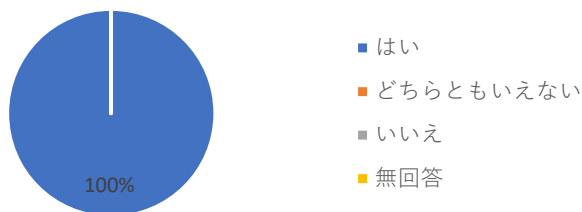
質問 2 9 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか



- ・成功事例や支援方法など、その都度伝えている
- ・管理者を中心に行っている
- ・保護者からの相談等には管理者を通して対応している
- ・引継のタイミングや児発管と保護者のやり取りのなかで、事業所内での利用者との関わりの成功事例を伝えるなど支援を行っている

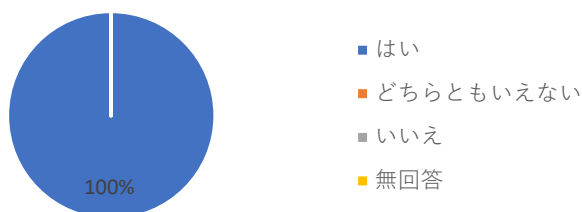
【非常時の対応について】

質問 3 0 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか



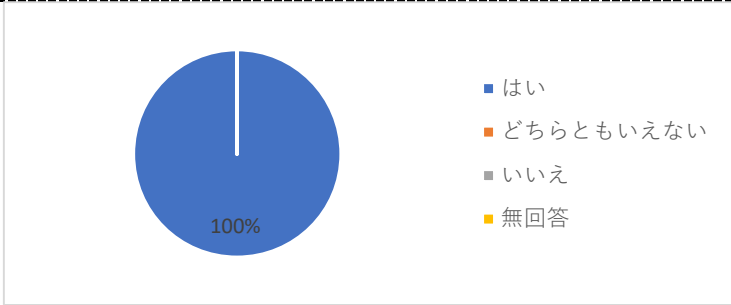
- ・契約時や問い合わせがあれば説明している
- ・報酬改定の際は説明会を開催している
- ・昨今のコロナ禍における運営規定、支援内容、負担金の説明など迅速に丁寧に行えている
- ・書面や直接対話できめ細かに説明している
- ・利用前に詳しく説明を行っている。報酬改定の際には保護者にも説明している

質問 3 1 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



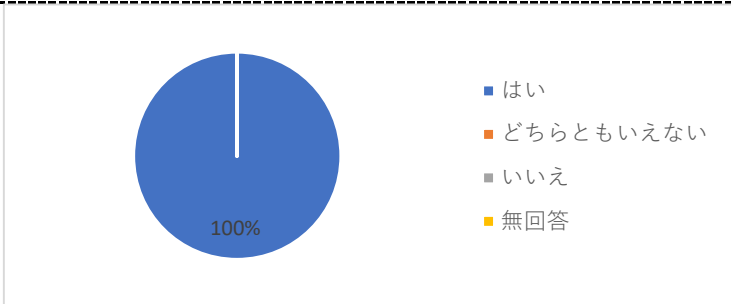
- ・その都度質問や相談に応じている
- ・相談員、管理者が適切に対応して行うことができている
- ・適せん、児発管を窓口に対応している
- ・その都度保護者と連絡を取り合い、助言と支援を行っている

質問3 2 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか



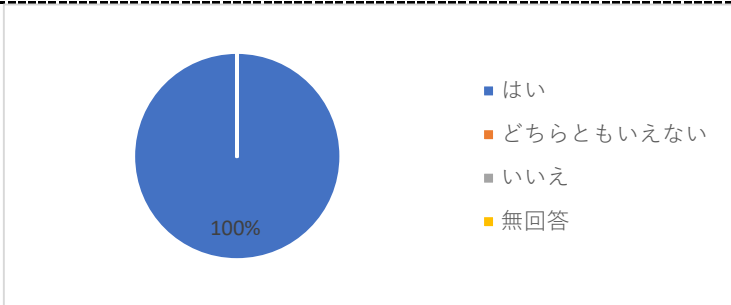
- ・今年度はまだだが、保護者懇親会を開催したり、特別営業日を通じて出来ている
- ・保護者が参加できる行事を設定するなど支援ができています
- ・懇親会や田植え、稲刈り、餅つき大会等を通じて交流・支援している
- ・餅つきや稲刈り等の特別営業日の際に保護者同士で交流を行う場を設けている

質問3 3 保護者等からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



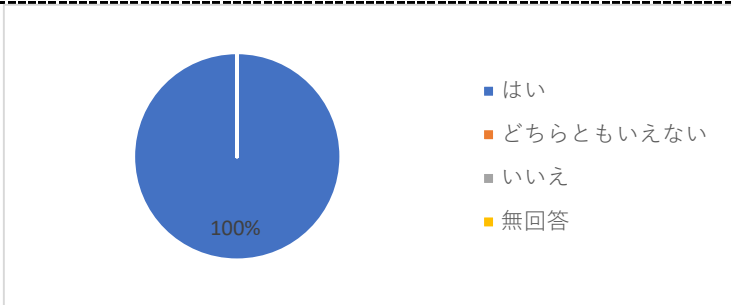
- ・苦情等があれば、迅速・適切に対応できるよう努めている
- ・迅速且つとても丁寧に対応が行われている
- ・即、適切、的確な対応をしている
- ・苦情があれば、迅速に状況の確認、児発管を通じて保護者と連絡を取り合い対応を行っている

質問3 4 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか



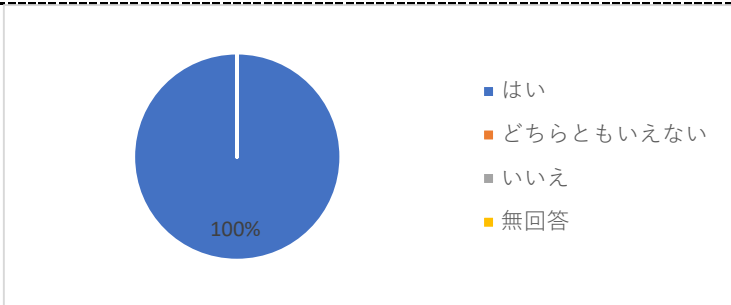
- ・毎月広報誌を発行している
- ・長期休暇ごとにスケジュールを配布している
- ・その他、必要なお知らせ等、都度お渡ししている
- ・栄光の架け橋を毎月ほぼ定日に配布し、発信できている
- ・月一の広報紙発行、特別営業日の案内などで知らせている
- ・月に一回広報紙を発行し、利用者の方々に配布している

質問3 5 個人情報に十分注意しているか



- ・書類等の管理も注意している
- ・職員間のやりとりも社用携帯を使用している
- ・SNSの利用もない
- ・ダイルームのパソコンなど個人情報が外部に見えないよう注意している
- ・PC画面の管理や適切な書類管理などに努めている
- ・書類等の管理等、十分注意している

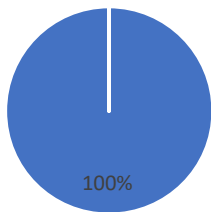
質問3 6 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか



- ・利用者に応じて配慮している
- ・利用者が理解しやすい言葉遣いを心掛けている
- ・対象者の実態に基づいて配慮している
- ・引継の際に配慮を行っている。子どもとの意思疎通に関しても、分かりやすさや不安にさせない等の配慮を行っている
- ・玄関に筆談用のボードがあるなど対応がされている



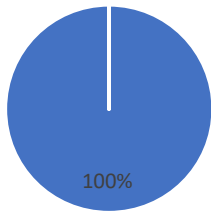
質問 3 7 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

- ・特別営業日には外部の方を招待するなど、事業運営を図れている
- ・コロナ禍で不特定多数の招待は叶わないが、できる限りの運営はできていると思います
- ・懇親会への参加、餅つき大会への地域の方の参加など開かれた事業所運営に努めている
- ・特別営業日には外部の方への招待がある。大分大学生の方々と協力しての防災訓練を行ったりもした

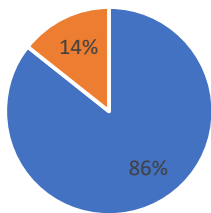
質問 3 8 緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

- ・事業所玄関、事業所内にファイル・掲示している
- ・各マニュアルを策定している
- ・事業所内の見える場所にマニュアルの設置がある。情報が更新されたり改訂があれば刷新されている
- ・各種マニュアルはいつでも手の届くところに配置、策定している
- ・マニュアル作成し保護者にも年度初めに周知を行っている

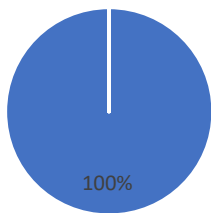
質問 3 9 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

- ・年に2回、避難訓練を実施している
- ・今年度は9月に実施し、次回R4.3月にも実施予定
- ・12月には防災教室開催（大分大学）
- ・避難訓練は年に2回、水の備えなど行われている
- ・年2回の避難訓練を行っている
- ・訓練等を行っている。今年は大分大学の学生の方々と防災についてのレクリエーションも行った

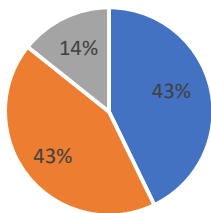
質問 4 0 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

- ・マニュアルをいつでも見れるようファイルしている
- ・全体会議やワウトークでも都度情報や対応等、共有できている
- ・全体会議にて、全国の情報などを知る機会が設けられている
- ・研修会への積極的参加や案内ができています
- ・研修や会議を通じて理解を深め対応を行っている

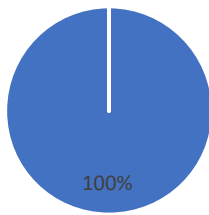
質問 4 1 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

- ・該当者がいない
- ・全体会議での社員研修で説明・周知が行われている。利用者に該当者はいない
- ・該当する利用者はいないが、事業所内研修で説明され共有している
- ・現在対象者はいない。ガイドラインへの理解や身体拘束、虐待への理解は研修等を通じて行っている

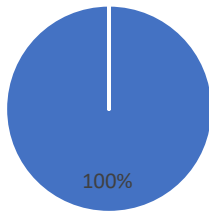
質問4 2 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

- ・毎日アレルギーチェックを行っている（2名以上の確認）
- ・アレルギー対象者の保護者と定期的・都度確認等を行っている。
- ・購入物のアレルギー表示をダブルチェック。表示でわからない場合は管理者に聞き行っている
- ・おやつや弁当の場合に複数確認をしている。いざという時の対応も共有している
- ・アレルギーのある利用者については把握し、食事提供時にはアレルギーのダブルチェックを行っている

質問4 3 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 無回答

- ・毎日日報で共有している
- ・「ヒヤリ」「ハット」したことを日報に記録し共有している
- ・日報に小さなことでも必ずヒヤリハット事例を記載している
- ・毎日、日報にヒヤリハットの報告をあげ、職員同士で確認しあっている